

音楽科

評価の観点

○知識・技能

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

○思考・判断・表現

- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら、よさや美しさを味わって聴いたりしている。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

※学期のまとめに、クラス内発表会を行い、相互評価、自己評価等を行っています。

<評価方法>

- ・教師による観察
- ・ワークシート等の記述
- ・演奏やそれに至る過程
- ・クラス内発表会（クラス全員で共有できるようにする。）
- ・期末テスト

学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

学習の特色

積極的に授業に参加し表現の幅を広げていきます。また、技能は一朝一夕に身に付くものではなく、小学校からの積み重ねと、今後3年間の地道な努力が必要です。受け身ではなく、自ら高めようとする姿勢が重要です。

学習の仕方

授業では、表現活動に力を注いでください。毎時間自分の限界に挑戦することにより、技能は身に付いていきます。

他教科同様、授業だけで定着するということはありません。自分なりに、自分たちなりに正しく繰り返す必要があります。その1つの例が、合唱コンクールです。各自個人練習、パート練習、クラス練習に積極的に参加しましょう。

また、授業で学習している楽曲や音楽文化について、授業以外でも図書やインターネットを活用し、情報収集に努めてください。現在は、様々な音楽を手軽に視聴することが可能です。異なる演奏形態、異なる演奏者、パート別音源等、週に1時間しかない音楽の授業を補い、より豊かなものにする努力をしてください。



1年・年間計画		時間
1 学 期	<p>○響きのある声でのびのびと歌おう。 「校歌」(歌唱)</p> <p>○言葉を生かして表現しよう。 「夏の思い出」(歌唱)</p> <p>※歌うための準備<発声練習の仕方・合唱初歩></p> <p>○イメージをふくらませて聴こう。 「春」(鑑賞)</p> <p>○弦楽合奏の豊かな表現を味わって聴こう。 「弦楽合奏のセレナード」(鑑賞)</p> <p>○混声合唱の響きを楽しもう。 「クラスで選択した合唱曲」(歌唱)</p>	16
2 学 期	<p>○伴奏のリズムやハーモニーを感じ取って演奏しよう。 「カノン1」(器楽) 「喜びの歌」 「ソナタ K.331」 「オーラリー」 「アメージング・グレイス」</p> <p>○言葉を生かして表現しよう。 「赤とんぼ」(歌唱)</p> <p>○曲の構成に気付いて表現を工夫しよう。 「日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう」(創作)</p> <p>○イメージをふくらませて聴こう。 「魔王」(鑑賞)</p>	20
3 学 期	<p>○日本の伝統音楽の魅力を感じ取ろう。 箏曲「六段の調」(鑑賞) 「箏を弾いてみよう」(和楽器) 「自然の様子を音楽で表わそう」</p> <p>○気持ちを込めて表現しよう。 「旅立ちの日に」(歌唱) 「校歌」(歌唱) 国歌「君が代」(歌唱) 「大地讃頌」(歌唱)</p>	9

2年・年間計画		時間
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律のまとまりを捉えて、音域に応じた発声で歌おう。 「生命がはばたくとき」 (歌唱) ○曲想と形式との関わりを理解して歌おう。 「浜辺の歌」 (歌唱) ○リズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取ろう 「ボレロ」「火星」 (鑑賞) ○混声合唱の響きを工夫しよう。 「クラスで選択した合唱曲」 (歌唱) 	12
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○声部の重なり方の理解と表現の工夫。 「カノン3」「カントリーロード」他 (器楽) ○音楽の仕組みを理解しよう。 「ベートーヴェンの交響曲」 (鑑賞) ○主題と応答の現れ方やフーガの形式を理解して鑑賞しよう。 ○パイプオルガンの音色を味わい、旋律やテクスチャなどから音楽の特徴を聴き取ろう。 「小フーガ ト短調」 (鑑賞) ○「リズムパターンを作ろう」 (創作) ○歌詞と音楽のかかわりを生かして歌おう。 「花の街」 (歌唱) 	14
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○日本音楽のルーツをさぐる。 「郷土の音楽や芸能」 (鑑賞) ○気持ちを込めて表現しよう。 「旅立ちの日に」 (歌唱) 「校歌」 (歌唱) 国歌「君が代」 (歌唱) 「大地讃頌」 (歌唱) 	9

3年・年間計画		時間
1 学 期	<p>○日本の名曲を味わおう。 「花」(歌唱) 「荒城の月」(歌唱)</p> <p>○混声合唱の響きを味わおう。 「時を越えて」(歌唱) 「クラスで選択した合唱曲」(歌唱)</p>	12
2 学 期	<p>○様々なジャンルの音楽に親しもう。 「世界のポピュラーソング」(鑑賞・歌唱)</p> <p>○音列を使って音楽をつくろう。 「CMソングをつくろう」(創作)</p> <p>○音楽と他の芸術との関わりを理解して鑑賞しよう。 「アイダ」から 第2幕 第2場(鑑賞)</p> <p>○日本の伝統音楽を味わおう。 「勸進帳」(鑑賞・器楽)</p>	14
3 学 期	<p>○独奏楽器とオーケストラの関係を理解して鑑賞しよう。 「アランフェス協奏曲」(鑑賞)</p> <p>○気持ちを込めて表現しよう。 「校歌」(歌唱) 国歌「君が代」(歌唱) 「大地讃頌」(歌唱) 「旅立ちの日に」(歌唱)</p>	9